



2023年度 成果発表

(医療部)



NO	種類	発表部署名	ページ
1		病院長	1
2	診療科	呼吸器内科	3
3	診療科	消化器内科	4
4	診療科	肝臓内科/肝臓疾患センター	6
5	診療科	循環器内科	8
6	診療科	脳神経内科/脳卒中センター	10
7	診療科	血液内科	12
8	診療科	糖尿病センター	14
9	診療科	糖尿病・内分泌内科	16
10	診療科	腎臓内科/腎センター	18
11	診療科	精神科	20
12	診療科	緩和医療科/緩和ケアセンター	21
13	診療科	小児科	23
14	診療科	外科・消化器外科	24
15	診療科	血管外科	26
16	診療科	呼吸器外科	27
17	診療科	乳腺外科	29

NO	種類	発表部署名	ページ
18	診療科	整形外科	31
19	診療科	形成外科	33
20	診療科	脳神経外科	35
21	診療科	産婦人科/周産期母子医療センター	36
22	診療科	眼科	38
23	診療科	耳鼻咽喉科	39
24	診療科	泌尿器科	41
25	診療科	皮膚科	43
26	診療科	放射線診断科/画像診断センター	44
27	診療科	放射線治療科/放射線治療センター	45
28	診療科	麻酔科/手術センター	47
29	診療科	病理診断科/病理診断センター	49
30	診療科	リハビリテーション科	51
31	診療科	救急科/救命救急センター	53
32	診療科	歯科口腔外科	55

2023年度成果発表

山崎病院長



2023年度の成果

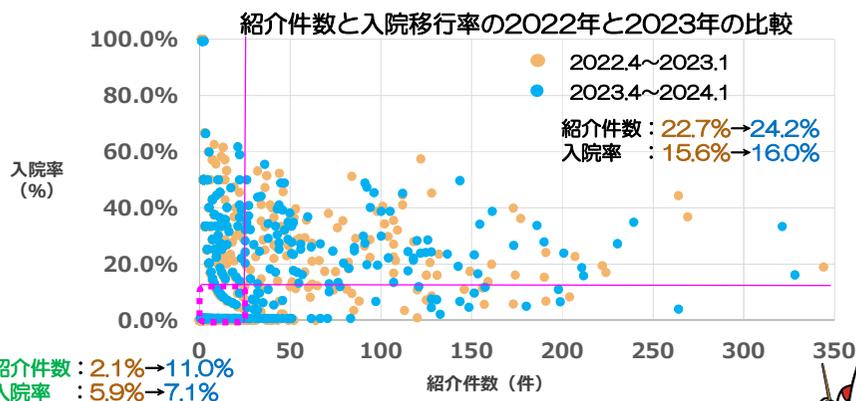
■ 課題は克服できたか 課題：コロナ禍ダメージからの回復

	外来患者数/日(人) 4月~1月累計					入院患者数/日(人) 4月~1月累計					
	2020年	2021年	2022年	2023年	前年比	2020年	2021年	2022年	2023年	前年比	
磐田	1,222	1,156	1,132	1,116	-1.2%	磐田	440.3	379.4	359.0	367.7	4.2%
A病院	1,209	1,148	1,154	1,152	-0.4%	A病院	415.2	376.8	387.1	387.2	1.0%
B病院	1,098	1,062	1,096	1,116	2.0%	B病院	445.3	417.2	421.0	411.3	-2.3%
C病院	1,051	968	966	958	-1.0%	C病院	506.6	461.4	454.5	430.7	-5.4%
D病院	1,559	1,665	1,649	1,670	1.4%	D病院	682.7	689.5	657.0	667.0	1.6%
E病院	1,162	1,020	1,050	1,041	-0.7%	E病院	450.4	398.6	418.8	402.3	-3.8%
F病院	1,871	1,880	1,877	1,876	0.0%	F病院	557.0	563.0	542.7	574.7	5.9%



2023年度の成果

■ 課題は克服できたか 課題：効率的集患に取り組む



2023年度の成果

■ 課題は克服できたか 課題：救急診療の体制強化

	2022年	2023年	
救急車来院患者数 (4月~12月)	3,899	4,345	11.4%
救急車入院率 (4月~12月)	43.2%	43.0%	-0.2%
救急搬送不応需件数 (4月~12月)	404件	291件	-28%

平日日中のホットライン一本化が寄与
救急外来の看護師の貢献



2023年度の成果

■ 課題：人材のトータルマネジメントの推進に取り組む

人材の能力を最大限に引き出すためのマネジメント

各職員のもつスキル どうなっているのか
このスキルをもつ職員はどの部署に何人いるのか

- 部署ごとの管理
- 手入力あるいは紙管理
- 定期的収集がないため最新情報でない

いかに職員ひとりひとりを活かし、組織全体の活力を向上させるか

ひとりひとりのキャリアデザインを尊重し
人材育成につなげる職場をめざす

TQMの活動の一環として継続していく



決意表明

■ 診療報酬改定で新設された救急患者連携搬送料の算定を得るため関係医療機関と協議をすすめる

■ さらなる効率的な集患 医療機関訪問の見直し

例えば Aクリニック	2022年	2023年
紹介件数	204	175
整形外科	86	83
放射線科	86	62
形成外科	13	10

■ TQMの中で人材のトータルマネージメントを手がける



2023年度成果

呼吸器内科

2023年度の成果

- 入院期間を短縮する。
平均在院日数:17.3日 → 15.4日
- DPC期間Ⅱ以内の退院 6割をめざす。
上記をみたしたのは2023年7月のみ



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- クライオ生検の積極的な導入
2022年度:13件 → 2023年度:36件
- 肺癌精査におけるクライオ生検の導入
今年度は導入できず、来年度に持ち越し

決意表明

- 中東遠地域の中核病院として、質の高い呼吸器疾患の診療をめざします。
- 働きがいのある職場環境をめざします。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

消化器内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果②

課題

地域の要請に高いレベルで対応することを目標としているが、仕事量が多く、医師および支える医療職の疲弊、マンパワー不足が見うけられる。

challenge

ビジョンを作成、共有し、未来に残す。

磐田市立総合病院消化器内科のビジョン

理念：「医療の原点は思いやり」。この思いやりは、患者、地域社会に限らず、共に働く仲間や自身に対しても発揮される。

自身と異なる能力、考え、立場に敬意を払い、協力し、新たな価値を生み出す。

誠実、寛容、規律、合理性、創造性を発揮し、課題を解決する。

関わる人々が安心して生活するために、自らの能力を磨き、その能力を寛容と伴に発揮する。

患者や社会の不利益になることは全力を尽くして避ける。

パーパス：消化器診療を通じ、人々や社会の課題に取り組み、より良い未来を創り出す。

ミッション：2030年までに、県内で最も共に働きたいと思われる消化器診療集団となる。

- 量・質ともに十分な消化器医療を提供し、地域医療に貢献する。
- スタッフの快適で健康的な生活、キャリア形成に責任を持つ。
- 若手教育、研究、先進医療で未来に貢献する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果①

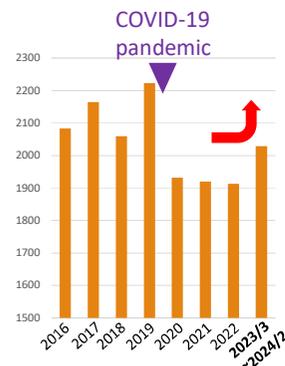
課題

下部消化管内視鏡の施行数、大腸がんの診断数の減少。

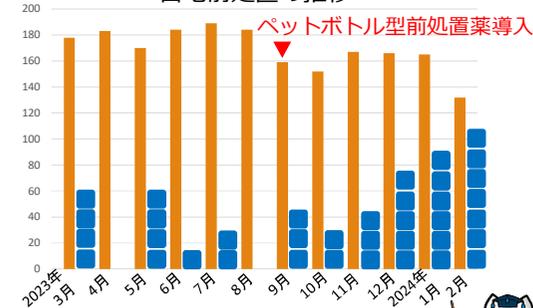
成果

下部消化管内視鏡の増加。
稼働額合計も目標突破。

当院の下部消化管内視鏡数



当院の下部消化管内視鏡数
自宅前処置の推移



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果②

成果

医師および関連病棟看護師の高い心理的安全性

	消化器病棟 看護師	当科医師
1 このチームでミスをしたら決まって咎められる。(R)	5.8±1.1	6.4±1.1
2 このチームでは、メンバーが困難や難題を提起することができる。	5.1±1.4	6.1±1.6
3 このチームの人々は、他と違っていることを認めない。(R)	5.7±1.2	6.4±0.8
4 このチームでは、安心してリスクを取ることができる。	5.0±1.1	5.9±1.0
5 このチームチームのメンバーには支援を求めにくい。(R)	5.7±1.0	6.9±0.3
6 このチームチームには、私の努力を踏みにじるような行動を故意にする人は誰もいない。	5.6±1.3	6.6±0.6
7 このチームチームのメンバーと仕事をするときには、私ならではのスキルと能力が高く評価され、活用されている。	4.9±1.0	6.2±0.8
合計	37.9±5.5	44.5±4.4



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明



消化器内科は、ひきつづき、**地域医療への貢献**とともに、院内で働く仲間にとっても、より**働きやすい環境**を創り、改善しつづけます。

そして、来年度には生まれ変わり、さらに成長していきます。



2023年度成果発表

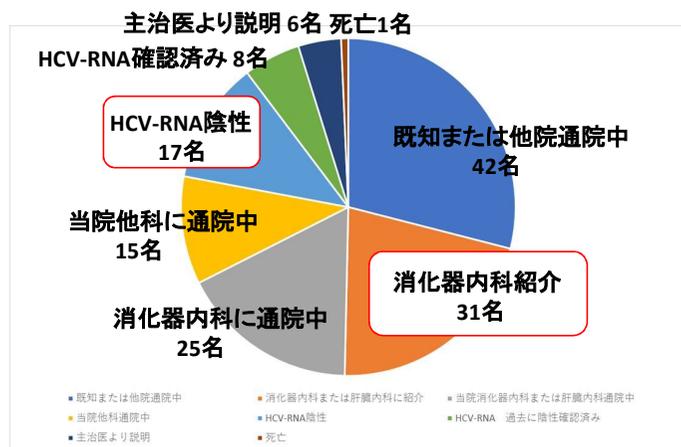
肝臓内科 肝疾患相談支援センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者 (検査後の対応に関して)

HBs抗原陽性 50名 HCV抗体陽性 95名 計145名



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

- ・院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の
拾い上げの徹底
- ・肝疾患に対する制度の周知
(患者様及び医療スタッフ)
- ・肝臓週間の院内キャンペーン



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

肝疾患治療費助成案内件数 (2023年4月～2024年2月)

肝炎治療費助成案内	24件 (10)
定期検査の助成案内	1件 (1)
給付金相談	7件 (4)
重症肝硬変・肝癌治療費の案内	4件
肝炎無料検査の案内	5件 (4)
医療相談	24件 (27)

()内は2022年度



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新たなチャレンジ

7月28日は**世界肝炎デー**で、7月28日を含む1週間は「**肝臓週間**」でした。
これに合わせて、院内でキャンペーンを行いました。

- ・正面玄関のブースでの**肝炎関連のポスターの掲示**
- ・肝炎予防啓発のチラシ、手ぬぐいなどの配布
- ・無料検査の案内
- ・**肝臓専門医による無料相談**
- ・**SNSによる情報発信**



決意表明

肝臓病で苦しむ人を一人でも
多く救いたい！



2023年度成果

循環器内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

医療の質の維持・向上

- ・心血管インターベンション治療学会研修関連施設の認定取得の準備

→当科児玉医師が心血管インターベンション治療学会専門医を取得。2024年度より同学会研修関連施設の認定取得を予定している。

- ・浜松医大循環器内科・心臓血管外科を中心とした病-病連携による高度医療提供の体制維持

→浜松医大循環器内科、心臓血管外科とそれぞれ合同カンファレンスを3か月毎に開催し、高度先進医療の知識共有や連携診療の強化を図っている。重症患者における緊急紹介/搬送などもスムーズに行う事が出来ている。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

多職種連携強化(業務効率化、タスクシフト)

- ・カテ室業務・・・臨床工学技士の心カテ(清潔野業務)参加

→臨床工学技士3名がカテーテル検査/治療、アブレーションでの手洗い業務に適宜参加。今後は手洗い可能な技士の拡充を図っていき、医師の業務量軽減を目標とする。

- ・ペースメーカ管理・・・遠隔モニタリング業務の継続・拡大

→当院ペースメーカ外来通院患者の52%が遠隔モニタリングを導入済み、今年度新規植込み患者の遠隔モニタリング導入率は28%であった。

- ・心不全治療・・・心不全診療における多職種連携の拡大

→心不全地域連携連絡会、心不全手帳、病棟看護師による退院後患者外来介入など職種や所属を越えた連携を継続的に行っている。

8月10日(ハートの日)には多職種合同の院内心不全勉強会を開催した。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

カテーテル治療の質向上に向けて・・・

- ・カテーテル治療におけるロータブレードの導入

→2023年4月よりロータブレード治療を開始。

導入初期は浜松医大より指導医を招聘し治療を施行、その後当院医師単独での治療に移行し2023年度は3例治療施行した。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

2024年度からは働き方改革の影響は無視できませんが、当科スタッフは1名増員予定であり、コメディカルスタッフと連携してより一層チーム医療の強化をしていきます。

地域中核病院としての医療を提供しつつ、更なる質の向上を目指します。



脳神経内科 脳卒中センター



目的

一次脳卒中センターとは部署名ではなく学会/協会から病院に付与された名称である

その目的は
rtPAと血栓回収術をできるだけ多く行うこと
＝適応症例を1例も逃さないことが主眼です

*治療で全員良くなるわけではない
rtPAで30%前後
血栓回収も50%前後
が良くなるに過ぎない
大勢に行わないと良くなる人が増えない



自部署の課題

スピードが命、時間との戦いです
＝時間切れがある

★タイムイントゥに間に合えばOKというわけではない

・3-4分遅れる毎に予後良好が1%ずつ

減っていく

・30分の遅れ→予後良好10%↓

・1時間の遅れ→予後良好38%↓



自部署の課題

目標とされるタイムコースは

- ①来院からtPA開始まで遅くも1時間
できれば30分以内
- ②来院から動脈穿刺まで遅くも90分
できれば1時間以内
- ③穿刺から再開通まで遅くも1時間
できれば30分以内

ですが②が達成できません

・しかし少しずつ速くなってはいます
・関わる全員がこのことを認識、共有し、分
担、協力して行なえば可能です



2024年度の新たな試み 決意表明

- ・ rtPAと血栓回収術の適応基準はここ数年急速に拡大しています
- ・ 従来適応外とされていたケースにも有効であると分かり、指針、ガイドラインが書き換えられている
- ・ これに遅れることなく適切な症例選択を行ないたいと考えています



2023年度成果

血液内科

2023年度の成果

・自家末梢血幹細胞移植を引き続き積極的におこない、年間5件以上を維持する。

→2023年度：**10件**実施

・学会発表年3件以上、論文執筆1本以上を目標とする。

→2023年度：学会発表**4件**、論文執筆**1件**



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

・研修医への指導を丁寧に行い、血液内科を希望する先生を1人でも確保する。

→**当院で研修した1名**が血液内科に入局

2023年度の成果

・2023年度の新たなチャレンジ

★輸血・細胞治療センターの設置

→2023年10月～血液疾患診療センターが設置された。

2024年4月からは6階西病棟が血液内科単科(血液疾患診療センター)になります。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

・2023年度の新たなチャレンジ

★AYAサポート外来の設置

→2023年度中の開始が

出来ませんでした、

**2024年度中にはAYA外来を
開始します。**



磐田市立総合病院 血液内科
AYAサポート外来

AYA世代のがん患者さん、
ご家族の治療と生活を
多職種でサポートします。

みんなで
支援します

医師 看護師 薬剤師 管理栄養士
医療ソーシャルワーカー 公認心理師
リハビリ ガン相談支援センター

こんな相談ができます

- ・病气や治療のこと
- ・利用できる制度についての情報
- ・治療費などの経済面の相談
- ・疲労、お仕事の悩み
- ・治療と妊孕性についての相談
- ・学校や勉強のこと
- ・家族、結婚、子どものこと
- ・恋愛や人間関係のこと
- ・食事や運動など生活全般
- ・運命のこと

外来日
原則 火曜午後

受診方法

主治医、医療スタッフにAYAサポート
外来への受診希望をお伝え下さい。

お問い合わせ・ご相談
磐田市立総合病院
血液内科外来 ☎ 0538-38-5000(代表)



決意表明

中東遠地域唯一の血液内科を標榜している日本血液学会認定の血液専門研修施設として、当地域の中心的役割を担います。

当院血液内科の試みを発信していきます。



2023年度成果発表

糖尿病センター

糖尿病センター 2023年度の目標

磐田市立総合病院 糖尿病センター

2022年10月1日 発足

当院内のみでなく、地域と連携し
糖尿病診療の発展に寄与するセンター組織として
新しく設立（前身は糖尿病連絡会）

地域の皆さん院内外の皆さんに知っていただく努力

多岐にわたる診療科や職種、部門の連携を可能にする風
通しの良い運営

静岡県中東遠地区、唯一の糖尿病教育入院稼働施設とし
ての取り組み



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病センター 2023年度の成果 1

フットケア外来

糖尿病足病変の予防、早期発見外来の拡充

看護部、看護スタッフの、指導資格取得にむけての努力 指導充実外来
拡充のための積極的な意見交換と創意工夫、等の取り組みにより、本年
度飛躍的な成果をあげることができた。

フットケア担当看護師の育成 3人（2023年4月）→ 8人（2024年2月）

診療担当日の増設 月3日 18枠 → 月10日 50枠

受診窓口の拡大 糖尿病・内分泌内科 + 透析センター（腎臓内科）



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病センター 2023年度の成果 2

スタッフのスキルアップ・育成・資格取得の支援

看護師等医療スタッフむけの薬剤、糖尿病機器の説明会を主催
変化・進歩していく糖尿病医療の知識を病院内の各部門、病棟で共有

6月12日 5東病棟 糖尿病療養指導士鈴木Nsの糖尿病薬のレクチャー & SGLT-2 阻害剤と
ケトアシドーシスの解説

6月21日 外来中央処置室 午前8時30分からと9時から2回。経口GLP-1作動薬の解説と絶食
検査時の注意点

7月13日 7西病棟 当院採用ペン型インスリンの説明
胃カメラ等絶食検査時の対応

7月24日 糖尿病センタースタッフ
血糖測定器・リブレの説明

7月27日 7西病棟 当院採用ペン型インスリンの説明。
バイオシミラー製剤の説明。

8月8日 7東病棟 当院採用ペン型インスリンの説明。
注射の補助具について

今後の予定

3月27日 産科病棟 当院採用薬のペン型インスリンの説明。妊婦
さんへのインスリン注射について

スタッフの 資格（糖尿病療養指導士）取得の支援



外来中央処置室

7東病棟



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病センター 2023年度の成果 3

11年目を迎える糖尿病教育の刷新

センターだからこそできる企画として専門領域の
医師による特別レクチャーの開催

2023年特別講義

2023年6月28日 講師 血管外科 齊藤貴明医師

当地域災害時のインスリン供給シ
ステムの確立にむけて

静岡県糖尿病災害対応チームの発作に伴い、
県の災害時糖尿病医療支援に参加予定
(2024年度 活動開始予定)

1型糖尿病患者数の把握として
県の主導でLINE公式アカウントでインスリン
依存状態にある患者の登録開始準備中

2023年度糖尿病教室特別講義の
ご案内

日時 6月28日 水曜日
14:00～
場所 周産期センター講堂
内容 糖尿病と足について
講師 血管外科
齊藤 貴明 医師



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

たゆまぬ研鑽
エキスパートの力を糖尿病患者さんに還元！

地域と連携した
糖尿病診療活動の実践！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

糖尿病・内分泌内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2023年度の成果 2

患者さんのためになる、地域連携

地域クリニックの治療・検査対応状況の把握

2023年最新版を更新

インスリンおよび関連注射管理
自己血糖測定
(含フラッシュモニタリングシステム)
甲状腺エコー
ホルモン補充等特殊疾患の処方

妊娠糖尿病の管理

産婦人科さんとミーティングを行い
GDM管理が可能な糖尿病クリニックの
情報を共有し、当院で分娩されるGDM
妊婦さんの管理について方針を検討



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2023年度の成果 1

COVID-19感染対策下で縮小された
糖尿病教育入院・糖尿病教室運営の再拡充

糖尿病教室

参加者 4名 → 8名

2024年～ 外来患者の参加も再開

中東遠地域 唯一の教育入院稼働施設としての責任

	1型糖尿病	2型糖尿病
2021年 4月～3月	18	100
2022年 4月～3月	23	109
2023年 4月～2月	23	78

糖尿病教育入院患者数

2型糖尿病は、外来で治療
開始が可能になってきて
おり入院→外来にシフト
している傾向がある

1型糖尿病は紹介の需要
が増えている



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2023年度の成果 3

磐田市腎症重症化予防事業

2023年4月～ 54歳未満の糖尿病患者を対象に当院および市内
クリニックで事業が開始

2024年4月～10月末で 54歳未満 磐田市在住の方

糖尿病の保険病名がついた方 477名(除外183名) → n=294の解析

	尿蛋白 (n=29 当院)			尿中微量アルブミン (n=59 当院)	
	未検査	陰性	陽性	陰性	陽性
磐田市立総合病院	11	154	129	40	19
市内クリニック (30施設)			12		67

専門外来へ

保健指導

2024年度：市では対象年齢を70歳未満に引き上げ、より多
くの患者さんを対象とする予定。当科も参加予定



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2023年度の成果 4

外来糖尿病患者の悪性疾患スクリーニングの徹底

誕生日 足病変チェックと腹部エコー検査の徹底

検査セットの作成などさらに対策を検討要

臨床研究活動を通して、新しい発見を発信！

透析患者さんの副腎機能に関する研究 **基礎データ取得中**

敗血症時の副腎機能に関する研究 **n=19**

上記2つの研究につき鋭意作業中



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明



稀少なホルモン疾患から
糖尿病や高血圧などの身近な疾患まで

スペシャリストが提供する
患者さん一人ひとりのための医療の追求！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標と成果

2023年度成果発表

腎臓内科・腎センター

	目標	成果	
患者数	維持透析 107人	100人	×
	透析導入 65人	50人	×
専門医数	透析専門医 3人	3人	○
	腎臓専門医 3人	3人	○
知的活動	論文(英文) 2報	1報	×
	論文(邦文) 1報	0報	×
	学会発表* 5回	5回	○
新規腎臓内科医の獲得	1人	4人	◎

* 第68回静岡腎セミナーで尾股恭介先生が優秀演題賞を受賞



2023年度の新しいチャレンジ①

内シャント狭窄に対する
血管内カテーテル治療への参画

○ 14件

バスキュラーアクセスの適正管理、
血管外科医師とのチーム医療の実現



2023年度の新しいチャレンジ②

透析患者さんに対する
心エコーの定期検査化

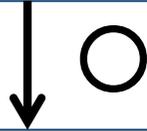
○

心疾患の早期発見、透析条件の適正化



2023年度の新しいチャレンジ③

入院期間短縮に向けての試み
透析導入パスの短縮(14日→11日)



DPC期間Ⅱ(12日)以内で退院



来年度に向けた決意表明

周囲から目標とされる施設となる



2023年度成果

緩和医療科 緩和ケアセンター



2023年度の成果 青字目標(2022年度実績)

診療加算

緩和ケア診療加算	1380件	2500件(2309)
外来緩和ケア管理料	199件	320件 (263)
PCT介入患者数	185名	250名 (273)
緩和医療科外来新患数	75名	125名 (119)
緩和医療科入院数	31名	30名 (24)



2023年度の成果(補足) (2022年実績)

がん性疼痛緩和と管理料 153件 (235件)

オピオイド回診 544件 (487件)

がん 46% (64%)

(非がん患者が増え、がん患者は減少)



2023年度の成果: 連携

中東遠緩和ケア連携カンファレンス 14件(目標12)

在支診・在支病連携カンファレンス 1回/月

県西部緩和ケアチーム連携カンファレンス 隔月

がんの家族をもつ子どもサポート浜松 3回/年



2023年度の成果 組織横断的活動

がん告知面談への同席

がん教育 小1校, 中3校, 高5校

AYAサポートチーム

臨床倫理コンサルテーション

LGBTQ院内体制検討ワーキングチーム

子どもサポート



決意表明 質の向上

緩和ケアの質の向上への取り組み・協力

診療の質の向上への協力

院内外連携の継続・推進

緩和入院 30件/年以上 →迅速な症状緩和

中東遠緩和ケア連携カンファレンスの推進

がん教育の推進 →正しいがん知識の普及



2023年度成果

小児科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

・新生児領域

近隣の総合周産期センターや地域周産期センターと協力し、静岡県西部における周産期医療を担っている

・小児科領域

地域の2次病院としての機能を果たすことができている



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

・小児科全体として

日本小児科学会小児科専門医2名合格



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

医師の働き方改革にあわせながら、NICU当直業務や救急外来業務を維持し、2次医療機関小児科および地域周産期センターとしての役割を果たす

若手小児科医が研修を希望する、医師の集まる魅力ある診療科、さらに質の高い診療レベルを目指す



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

外科・消化器外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

ロボット支援手術の安全な導入と保険適応の取得

ロボット支援下腓体尾部切除の導入：

腓切除20例／年以上、ロボット支援腓切除5例施行→保険適応取得

ロボット支援下肝切除の導入：

肝切除20例／年以上、ロボット肝切除10例施行→保険適応取得

結腸・直腸と合わせて当初、導入を目指したすべての消化器外科のロボット支援手術は無事に導入でき、保険適応の条件をクリアしました



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

急性期充実体制加算の必要条件 全麻手術件数、緊急全麻手術件数の維持

全身麻酔手術（外科のみ）554件（4月から12月）→平均約62件/月→約739件/年 病院全体：2000件以上達成

緊急全身麻酔手術（外科のみ）109件（4月から12月）→平均約12件/月→約145件/年 病院全体：ほぼ350件



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

働き方改革（外科医のQOL改善）

・積極的な年休取得（家族、趣味のため）、夜間労働翌日の年休取得の推奨

平均年休取得日数：11.6日（平均取得率：59.5%）

・昔の「帰れない、休めない」雰囲気の一掃



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

さらなるロボット支援手術の充実をはかります（胃切除）

今後も若い先生や学生が、将来、外科医になってもいいな、と思えるような働き方を目指していきます



2023年度成果

血管外科

2023年度の成果

- 2023年
目標
- 手術件数を増やす！！
 - まずは目標は150件/年！！

過去の手術件数

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
121	146	134	135	116

→ 2023年は減少



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- 2023年
目標
- 下肢静脈瘤手術やシャント血管拡張術は“日帰り”で行う

→
下肢静脈瘤での入院は1例のみ(35例中)
血管拡張術は全例日帰り手術であった

決意表明

- 手術件数を増やす！！
- 目標は150件/年！！



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

呼吸器外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標とチャレンジ

今年度の目標

- ・ 対応力を維持改善しながら
疲弊しない体制づくりと強化
- ・ ロボット支援下手術の術者資格保持者を
2名体制に

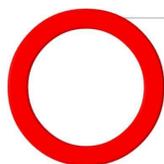
今年度のチャレンジ

- ・ 縦隔腫瘍手術に対する
ロボット支援下胸腔鏡手術の導入



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果



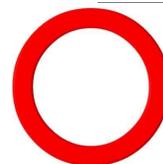
- ・ 対応力を維持改善しながら
疲弊しない体制づくりと強化

- ◎ チーム制の徹底
- ◎ 不在時や休日は科内SNSを用いた
情報共有
(但し、患者個人が特定できないよう最大の配慮)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果



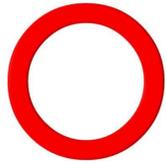
- ・ ロボット支援下手術の術者資格保持者を
2名体制に

- ◎ 2024年1月 術者Certificate取得
→ 術者2名体制に



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果



- ・ 縦隔腫瘍手術に対する
ロボット支援下胸腔鏡手術の導入

◎ 2023年7月 縦隔腫瘍手術を導入

7件実施 (2024/2月現在)

※ 緊急開胸コンバート **0件**



決意表明

スタッフの得意分野を最大限に
活かしながら、
時代の潮流と周囲の状況に即して
変化を続けていきます



2023年度成果

乳腺外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

1. 検診 BRCA変異陽性者に対するMRI検診
2. 診断
MRIで指摘された病変に対する積極的MRI超音波融合針生検
3. 治療
ジーラスタボディポット使用による患者さんの通院負担の軽減
整容性を意識した乳房温存 (Moving Window法・scaffold法など)
センチネルリンパ節転移1個陽性例に対する腋窩郭清省略
4. そのほか
動画、line、webでの検診・診療に関する情報提供、
転移再発乳癌に関する具体的診療計画作成



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果 治療実績

乳腺外科 診療統計		
	2022年	2023年度(4/1~2024/3/11)
初回薬物治療中の新規乳腺悪性腫瘍数	33	40
乳腺悪性腫瘍に対する根治術数	87	104
乳房温存術数(乳房温存率%)	44(50%)	44(42%)
乳房再建に関する手術数	15	18
良性腫瘍	8	8
乳房膿瘍・乳輪下膿瘍	2	6
そのほかの手術	14	16
手術の総計	111	152
超音波及びステレオガイド下マンモトーム(吸引式組織生検)	18	25



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

がん制圧月間ミニセミナー 遺伝学的検査を含めた乳癌の診断と治療

磐田市立総合病院 乳腺外科 手嶋花梨

BRCA遺伝子検査

検査費用は20万円
例) 3割負担: 6万円

- ・乳がんの方全員が遺伝子検査をするわけではない
(遺伝子検査は高額であり、保険適応の方は限られている。)
- ・また、遺伝子検査は提案するが**強制ではない**

BRCA遺伝子検査の保険適応

45歳以下の乳癌
60歳以下のトリプルネガティブ乳癌
2個以上の原発乳癌
乳がん・卵巣がんの家族歴がある
男性乳癌

乳がんの治療が
終了している方で
も、適応内ならば
検査が受けられる
可能性がある

2023年10月11日(水) 中東遠乳腺カンファレンス
にてアピアランスケア、HER2陽性乳癌の治療に関して講演会実施



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

業績

MRI/超音波融合画像ガイド下乳房針生検が有用であった乳癌の3例

磐田市立総合病院 乳腺外科
手嶋 花梨、伊藤 靖、後藤 圭吾 ほか

第20回 日本乳癌学会中部地方会 (9/3 於 山梨県立大学池田キャンパス)
にて手嶋Dr 発表。乳癌の臨床 投稿中。

当院における葉状腫瘍の診断治療計画に関する検討

磐田市立総合病院 乳腺外科
伊藤 靖、手嶋 花梨、後藤 圭吾 ほか

第31回 日本乳癌学会総会 (於 6/30 於 パシフィコ横浜)にて伊藤 発表。

エンハーツ点滴静注用100mg特定使用成績調査(乳癌)患者を登録対象とした
トラスツズマブ デルクステカン中止後の後治療に関するコホート研究
参加・継続中



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

地域格差の解消

重篤な薬害防止

アナログ診療からの脱却
と若返り



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

整形外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

- ・病院収益への貢献
 - ・入院期間(平均在院日数14.8日)
 - ・診療単価(DPC II以内退院率68.1%)
- ・医師の働き方改革への対応
 - ・時間外労働時間(月平均57.7時間↑)
 - ・年休取得(年平均7.63日↓)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

病院収益への貢献

① 平均在院日数の短縮

R4年度 14.8日 → R5年度(4-12月) 14.9日

② DPC II期以内退院率の向上

R4年度 68.1% → R5年度(4-12月) 71.9% (3.8% up)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

点数・専門性の高い手術への取り組み

	R4年度	R5年度	増減
神経・血管・腱損傷	98件	105件	7%↑
人工関節置換術	130件(THA 85, TKA 45)	117件(THA 68, TKA 49)	10%↓
ACL再建術	8件	22件	175%↑
脊椎手術	68件	94件	38%↑

新たに加算のついた治療への取り組み

緊急整復固定加算(大腿骨近位部骨折:4,000点)

R4年度(2022/4月~2023/3月) 61件
R5年度(2023/1月~2023/12月) 93件



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

医師の働き方改革への対応

時間外労働時間の短縮

・960時間/年超のスタッフ0人

→達成

有給取得率の向上

・スタッフ全員の年平均10日以上取得

→全員5日以上は取得



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

地域にアピールできる手術手技や診療の導入と実施

・経皮的椎体骨折治療の適応拡大 → 達成できず

・人工関節ナビゲーション手術の実施(加算あり2,000点/件)

(R4年度7件 → R5年度24件)

・地域連携パスの適応症例の拡大 → 達成できず

大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折

→腰椎圧迫骨折、脆弱性骨盤骨折etc



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

・手術件数を維持しつつ、働き方改革に配慮した効率的な業務の運用を目指す。

・量だけでなく質の向上(術後合併症や再手術件数の減少)を目指す。

・個々の診療レベルを上げて、地域にアピールできる診療を目指す。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果

形成外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

本来医師7年目で取得する形成外科専門医であるが、医師4年目の若手でも、症例要件を満たせるように経験を積ませる。

→当科若手医師は医師4年目終了時点で、専門医取得が可能な症例数を積めた。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

若手に負担が集中しないように分散するように努める。

→入院・手術・外来・待機・当直など、全てなるべく平等になるように分担できた。子育て中に2名は当直免除、待機は最小限としている。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

若手医師にも積極的に高難度手術の術者を行ってもらおう。それができるように、上級医はサポートを確実に行う。

→一般の施設では医師4年目ではなかなか執刀できないような、自家組織による乳房再建を複数回執刀できた。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

医師の労働時間・労働負担を最少限にする中で、地域のニーズは確実に満たせるようにする。

→年度を通して時間外80時間越えはなし。
4人全員が有給休暇取得率100%。それでいて形成外科として断った症例は0件。



決意表明

引き続き地域医療のニーズを満たしながら、医師の働き方の改善および、若手医師の育成に努めていく。



2023年度成果

脳神経外科

2023年度の成果

- 手術件数の増加
約170件 5%程度の増加
- △外来・入院件数の増加
外来、入院ともほぼ横ばい
- ×人員への負担軽減・業務の効率化
緊急時の人員不足続く。数日夜勤務
いても代わりがいなく休めない



決意表明

近隣医療機関と連携し、地域医療により
対応できる体制作りを

緊急疾患への対応を継続しつつ、人員の
疲弊を避ける体制作りを

大学と連携し、より困難な症例も当院で



2023年度成果発表

産婦人科・ 周産期母子医療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果 手術

術式	例数	術式	例数
ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術	13	卵巢悪性腫瘍手術	21
腹腔鏡下子宮全摘術	60	子宮悪性腫瘍手術	7
腹腔鏡下付属器手術	64	バルトリン腺手術	1
腹腔鏡下仙骨腔固定術	11	外陰手術	0
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	2	流産手術	10
腹式子宮全摘術	6	子宮内膜掻爬術	17
子宮筋腫核出術	0	帝王切開術	109
腹式付属器手術	5	開腹その他	2
腔式子宮全摘術	5	腔式その他	10
子宮頸部円錐切除術	34		



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果(婦人科)

鏡視下手術

- 目標113例(前年+10%)→155例(11か月)
- 安全を確保して上での手術時間の短縮
 - 腹腔鏡下子宮全摘術
 - 2022年度222分→2023年度192分

ロボット支援下子宮全摘術

- 目標12例→13例(11か月)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果(11か月) 周産期母子医療センター

分娩数 372

帝王切開術症例数 109件 29.3%

母体搬送受入数 45件

母体偶発合併症数 88

産科合併症数 195

早産数 32~36週:47例

低出生体重児 1500g未満3例、2500g未満52例

ハイリスク分娩管理加算 10.6件/月

NICU 4.7人/日 GCU 0.4人/日

無痛分娩施行4例



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果(12か月換算) (周産期母子医療センター)

分娩数 450 件(維持)→406件

- 無痛分娩実施の確立 10例→4例
- 産褥食事内容の見直し: 入院中2回のお祝い膳内定
- 入院中の患者コミュニケーションの促進: ほっとサロン
- 産科外来時の超音波画像提供: 来年度予算

ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・早産等の受け入れ継続

- ハイリスク分娩管理加算 10件/月 のべ500件→10.6件/月 のべ436件
- 母体搬送受け入れ 50件→49件

働き方改革への対応

- 中東遠圏域周産期医療機能連携の内容決定
- スタッフ数 7名→8名(時間短縮勤務2名を含む)
- 有給休暇消化率増加 平均42.5%→48.8%

出生前検査認証制度等運営委員会によるNIPT認証医療機関(連携施設)の指定
獲得、周産期遺伝カウンセリング外来の開始



決意表明

中東遠地域の中核病院として地域のニーズに応える手術を施行します。

中東遠地域唯一の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・新生児の受入を維持していきたいと思います。



2023年度成果

眼科

2023年度の成果

1. 硝子体注射が外来で出来るようになった
2. 硝子体手術の体制が整うようになった。
3. 外来待ち時間が60分以上超えなくなった。



2023年度成果

耳鼻咽喉科



2023年度の成果

① マンパワー不足

マンパワー

- 常勤2名+時短1名 体制
- 若手常勤医Tに時間外業務が集中していた

非常勤招聘

- 浜松医大より週1回外来へ派遣いただくよう依頼

時間外低減

- **80 → 60** (時間/月)(概算)[常勤医T]



2023年度の成果

② アレルギー性鼻炎治療へのチャレンジ

手術治療(下鼻甲介手術)

- 粘膜下下鼻甲介骨切除術を行ない、例数を増やしている
8例 → 18例
- 後鼻神経切断術も症例応じて併施
0例 → 4例

免疫療法(舌下免疫療法)

- スギ花粉抗原の供給制限のため、未開始



2023年度の成果

③ 手術件数の増加

	2023年	2022年
全身麻酔症例数	189	137
耳領域: 鼓室形成術	9	4
鼻領域: 内視鏡下鼻副鼻腔手術	46	22
口腔咽頭領域: 扁桃摘出	107	78
頭頸部腫瘍領域: 甲状腺+耳下腺	28	24



決意表明

丁寧な診療・分かりやすい説明を心掛け、
「医療の原点は思いやり」の診療を目指します

かかりつけ医で対応が困難な病状を積極的に受け入れ、地域医療を支えていきます



2023年度成果

泌尿器科



2023年度の目標

2023年から開始されたロボット前立腺癌手術(K843-4内視鏡手術用支援機器使用腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術)を診療報酬適応とするために下記条件を達成する。

- ①開始：半年以内に10例以上
- ②維持：1年以内に20例以上



2023年度の成果

ロボット前立腺癌手術件数：

2023年2月～7月(6か月) 10件

→開始時半年以内に10件の目標達成

2023年8月～2023年12月(5か月) 9件

→届出月から12月までの件数は目標達成



2023年度の成果

・当科職員1名のプロクター取得準備中

・癌検出率の高い前立腺検査機器
(タカイ医科工業 Biojet)は未導入



決意表明

ロボット前立腺癌手術の施設基準維持
(1年以内に20例以上)



2023年度成果

皮膚科



2023年度の成果

外来患者数および入院延べ数増加によって稼働額は増額

項目(単位)	2023年度 (4-1月)	2023年度 (見込み)	2022年度	2021年度	2020年度
外来延べ患者数(人)	10,855	13,027	11,449	10,851	11,070
外来医療収入(円)	140,161,813	168,194,175	156,639,265	121,829,056	112,662,700
外来1日当り単価(円)	12,912	13,170	13,681	11,227	10,177
入院延べ患者数(人)	1,301	1,561	1,386	1,425	1,300
入院医療収入(円)	65,992,866	79,191,439	77,583,597	62,995,154	57,345,002
入院1日当り単価(円)	50,725	60,870	55,977	44,207	44,112



2023年度の成果

人・場所による環境作りにおいて課題

ソフト面「やる気と元気」創出を目的とした環境作り

- 皮膚科外来の看護師・クラークの適切な人材を要求する(×)
- 時間有効活用によるスタッフ教育(△) [生物学的製剤の説明会](#)など
- 憩いの廊下設置の継続(○)
- Informal communicationの実践(○) [2回の親睦会](#)を開催
- リンパ浮腫専任医師の育成(○) [石川医師](#)

ハード面「癒やし・支える」診療体制の創設

- 目標達成にむけての環境整備(○) [エキシマライト](#)購入
- 業績に応じたインセンティブの提案(×)
- 診察室の整理整頓(△)
- 患者のプライバシーを考慮した診察室の具現化(×)



決意表明

ひきつづき、医療スタッフが「やる気・元気」をもてる環境を創生します。

患者中心主義に根ざした、皮膚科外来の環境を変えていきます。



2023年度成果発表

放射線診断科/ 画像診断センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度(4月-12月)の成果

	検査件数	読影件数	読影率
CT	21851	18989	86.9%
MR	6124	5542	90.5%
RI	639	563	88.1%
計	23614	25094	87.7%

約3700万円の収益

加算1より約2300万円以上の増収



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の目標

画像診断管理加算2の維持

画像診断を専ら担当する常勤の医師(放射線診断専門医)が翌診療日までにCT/MR/核医学検査の8割以上を読影して主治医に文書で報告した場合180点(加算1は70点)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

画像診断管理加算2の 継続

常勤医の減少、高齢化に対し、
非常勤医の増加、新たな常勤
医の確保を通して



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度成果発表

放射線治療科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

◇ プロトコールの整備

前立腺癌に対する放射線治療方針

密封小線源治療の施行方法

乳房術後照射の照射方法

定位放射線治療

脳転移・早期肺癌・肝臓癌・副腎転移・骨転移・腎癌



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

◇ 放射線治療人数の増加

	目標値	昨年度	本年度(2月まで)	結果
実人数	420人	378人	341人	届かず×
定位放射線治療	85人	72人	52人	届かず×
IMRT	50%以上	57.1%	54.1%	達成○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

◇ IMRTや定位放射線治療の適用拡大

・リスク臓器近接、複雑な形状のターゲット、再照射などにIMRTを積極的に活用した → 54.1%

◇ 放射線治療終了後のフォローアップ

・根治照射例を中心に照射後のフォローアップを開始

・治療効果や有害事象、再発などを確認

→ より良い放射線治療につなげる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

◇ 放射線治療センター内定期症例検討会

定期的に開催中

◇ デジタル機器利用による作業効率の上昇

放射線治療についての音声付き説明動画作成中

乳房術後照射 4種類 → 運用開始

前立腺外照射、内用療法、小線源治療についても作成中

* プライバシーに配慮した視聴場所の確保が課題



決意表明

ひきつづき

患者さんお一人お一人に合わせた

より効果が高く、副作用の少ない

放射線治療を目指します



2023年度成果発表

麻酔科 手術センター



2023年度の成果

	2023年度目標	結果(3/14現在)
手術件数	5,000件	4,868件
全身麻酔件数	2,100件	2,267件
全身麻酔(緊急)件数	365件	348件
針刺し切創事故	5件以下	14件
部内勉強会	12回以上	12回



2023年度の成果

急性期充実体制加算の算定に必要となる

全身麻酔による
手術件数 2,000件
(2,368件)

全身麻酔による
緊急手術件数 348件
(363件)

を達成



2023年度の成果

ロボット支援下手術件数(昨年度の約3倍)

	件数
呼吸器外科	8件
産婦人科	13件
消化器外科	27件
泌尿器科	10件
肝・胆・膵	11件
計	100件



2023年度の成果

外部委託業者の変更
→ 十分な効果は得られて
いない

手術枠 増加なし



決意表明

より安全で質の高い手術医療の提供

手術件数: 5,200件

全身麻酔件数: 2,200件

全身麻酔(緊急)件数: 365件

マンパワーの確保 → 3F手術室、分娩室の活用



2023年度成果

病理診断科 病理診断センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

自部署の課題

1. 昨年度は4人の専門医が在籍していたが、今年度からは2人の専門医のみとなった
→戦力ダウン
2. 5~20年後を見据えて専攻医の持続的な確保(複数の経路)、管理加算2の維持
3. 病理医の資質・技術向上



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- 1. 病理医の診断能力に関して、日本病理精度保証機構により高い評価(認定)を受ける
- △ 2. 総合的な業務遂行能力に関して、病院機能評価により高い評価を受ける
- × 3. 職員(特に専攻医)の確保



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

- 4. 他科・研修医のサポート体制強化:症例検討会、論文、学会発表への参画
- △ 5. 業務効率化:残業時間の削減、有給休暇の取得推進、能力に応じた仕事の割り振り(働き方改革)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

- 1. がん遺伝子パネル検査・エキスパートパネルへの出席
- 2. 看護学校・講義の担当者を変更(タスクシフト)

→4勝1敗2引き分け



決意表明

- 日本病理精度保証機構による認定を受ける



2023年度成果発表

リハビリテーション科



2023年度の成果

- ・嚥下造影検査数 100件/年
(56件/2022年度)
→150件 (2024年度2月時点) ○
- ・嚥下内視鏡検査 50件/年
→83件 (2024年度2月時点) ○



2023年度の成果

- ・早期離床リハ加算施設基準達成
→10月より算定開始 ○
- ・取得単位数 17.0単位/年/人
14.8単位(2022年度)
→ 15.6単位(2023年度) ×
- リハビリテーション実施計画書取得率
93%→88.4% ×



2023年度の成果

- ・リハ処方に対する主科、療法士フォロー
- ・他科、複合疾患、難渋症例のフォロー
- ・早期リハビリテーション加算算定率
88.4%(23年8月) → 98.9%(23年12月)
- ・多関節連動を用いた拘縮治療の開始
- ・新規装具の導入、開発
- ・能登災害リハビリテーション派遣
- ・訪問看護、リハビリテーションとの連携
- ・小児(重心、発達障害)静岡西部連携



決意表明

・診療報酬改定に対応し、より多くのリハビリテーションを提供しますが、療法士任せにならないよう、主治医、病棟とより連携して、患者の活動をサポートしていきます。

・院内、院外のお職種と連携して、円滑な退院、転院、当院への入院に貢献します。



2023年度成果発表

救急科 救命救急センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

①円滑な救急搬送を実現

搬送件数増加

前体制 平均432件/月 2022年度



新体制 平均**508**件/月 2023年6月-2024年12月



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

①円滑な救急搬送を実現

不応需率の減少

2023年度 9.9%



2024年度 **6.6%**



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

②救急外来における

患者や家族の満足度の向上
次年度からNEXT Stage ER導入

患者の待機時間などが
視覚的に確認できるようになる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の成果

③急変対応の充実

ICLS 研修医コース2件

RRS 相談件数14件

出動件数 6回



決意表明

医師の人数は少ないですが
チーム力で今後も頑張っていきます



2023年度成果

歯科口腔外科

2023年度の目標

1. 手術枠の未使用率を減らす
2. 入院一日当たり単価を向上させる
3. インフォームド・コンセントを十分に行い、患者満足度と質の高い治療を提供する



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



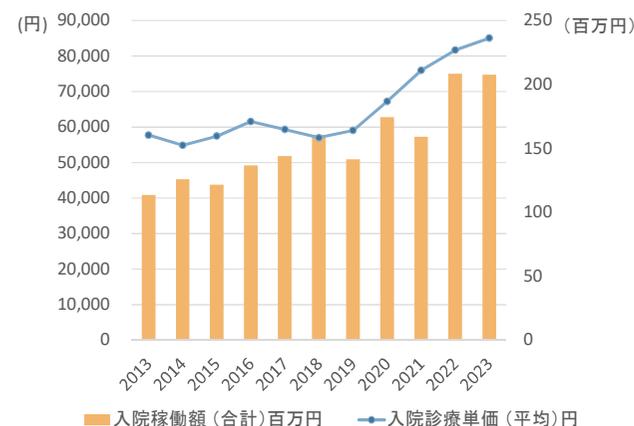
磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

1. 手術枠の未使用率を減らす

2022年度は10件の未使用枠があった。

2023年度は9件の未使用枠であった。月曜日午前の枠が未使用になりやすいため工夫が必要である。

2. 入院一日当たり単価を向上させる



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2023年度の新しいチャレンジ

1. 顎変形症シミュレーションソフトが更新されたため、多くの症例に術前シミュレーションを行い良好な手術結果に結びつける
→現在ほぼ前例の顎変形症手術に使用している。
2. 口腔内スキャナーを積極的に活用し、精度の高い医療を供給する
→インプラント補綴症例のほぼ前例に口腔内スキャナーを用いた光学印象採得を行っている。

